

第92回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和2年9月23日（水） 13:28～14:28

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Webex使用）

出席者 武田議長（学長）、
金子委員、斉藤委員、坂井委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、
平尾委員、藤井委員、水谷委員、小川委員、岡田委員、杉村委員、
吉井委員、品田委員、上野委員

（オブザーバー）吉田副理事、外村監事、林監事、坂本副学長、齋藤副学長、
大月副学長、増本副学長、國部副学長、中村副学長

欠席者 井戸委員、佐藤委員、中尾委員、久元委員

議事要録について

第91回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学神戸大学学則の一部改正について
学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）の一部改正により、大学院における入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成並びに実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の策定・公表が義務化されたことに伴い、国立大学法人神戸大学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果について
令和2年度国立大学法人運営費交付金の重点支援の評価結果の概要について報告があった。
 - 各大学それぞれ努力して取り組まれているが、運営費交付金の額が増えなければ予算の取り合いに終始し、国全体での教育研究の強化につながらない。最近の予算の動きはどうなっているのか？
 - ここ数年予算に変化はない。
なお、法人化以降の予算削減が、大学の教育研究や管理運営に大きな影響を与えており、例えば、現在より10%予算を増やすことで、若手研究者の雇用問題等、様々な課題が大きく進展すると考えている。
- 2 令和元事業年度財務諸表の承認について
令和元事業年度の財務諸表について、文部科学大臣の承認を受けた旨報告があった。
- 3 令和2年度補正予算について
令和2年度補正予算について報告があった。

- 4 2020（令和2）年度第1四半期資金運用実績報告について
2020（令和2）年度第1四半期の資金運用実績について報告があった。
- 5 統合報告書2020の発行及びシンダイシンポ2020の開催について
統合報告書2020の発行及びシンダイシンポ2020を開催することについて報告があった。
- 6 その他
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学の教育研究及び附属病院等への影響について現況を説明の上、意見交換を行った。
- 附属病院の令和2年4月以降の収益はどれくらい減っているのか、また、経費に関してはどうか？
 - 収益としては約10億円減っている。経費に関してはほとんど減っていない。経費が減っていない上に収益が減っているため、赤字が拡大することとなっている。
 - 海外留学中の日本人学生について、帰国指示を出して以降未だに現地に留まっている者がいる理由は何か？
 - 台湾等感染が拡大していない地域に滞在する学生で、引き続き現地で学業を続けたいと申し出た者や、コロナの感染拡大により出国したくても出国できない学生がいることが理由として挙げられる。
 - 他大学で実施されたアンケートでは、学生のうち10%が退学、25%が休学を検討しているとの結果が出たところもあるが、神戸大学ではどうか？
 - 本学では9月より学生及び教職員に対しアンケートを行っている。集計結果が出るのは10月を予定しているが、現在のところ、新型コロナウイルス感染症を理由とした退学や休学の申出は出ていない。
また、アンケートでは、遠隔講義の継続や、反対に対面授業の再開などの意見が出ており、それらを勘案しつつ、今後の講義の在り方について検討を進めている。
 - コロナ後を見据えた取組として検討を進めているものはあるか？
 - コロナに関係した取組として、全学で50件以上実施又は実施が予定されている。例えば、新たな価値創造を目的とする V.School において、コロナ後あるいは With コロナを見据えた新たな価値提言ができればと考えている。

◎ 次回は、令和2年11月24日に開催予定。